

感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

2023年第37週 (9月11～17日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

●全数報告の感染症 (1～5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2023年第1週から)

疾患名	報告数	累積
[1類]		
(報告なし)		
[2類]		
結核	239	9937
[3類]		
コレラ		2
細菌性赤痢		27
腸管出血性大腸菌感染症	120	2652
腸チフス	1	29
パラチフス	1	7
[4類]		
E型肝炎	4	400
A型肝炎	1	36
エキノкокクス症		10
エムボックス ¹⁾	6	195
オウム病		7
回帰熱	1	18
コクシジオイデス症		1
重症熱性血小板減少症候群	1	112
チクングニア熱		2
つつが虫病		114
デング熱	7	96
日本紅斑熱	13	305
ブルセラ症		1
マラリア	3	19
ライム病		22
レジオネラ症	58	1538
レプトスピラ症		23
[5類]		
アメーバ赤痢	4	360
ウイルス性肝炎 ²⁾	1	179
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ³⁾	42	1367
急性弛緩性麻痺 ⁴⁾	1	44
急性脳炎 ⁵⁾	4	386
クリプトスポリジウム症	1	8
クロイツフェルト・ヤコブ病	4	113
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11	591
後天性免疫不全症候群	6	668
ジアルジア症		32
侵襲性インフルエンザ菌感染症	9	397
侵襲性髄膜炎菌感染症		11
侵襲性肺炎球菌感染症	20	1259
水痘 (入院例に限る)	4	264
梅毒	171	10657
播種性クリプトкокクス症	1	121
破傷風	1	75
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		87
百日咳	18	664
風しん		10
麻疹		25
薬剤耐性アシネトバクター感染症		11

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) E型肝炎およびA型肝炎を除く。3) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。4) 急性灰白髄炎を除く。5) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ ⁶⁾	34665	7.03
新型コロナウイルス感染症	86510	17.54
RSウイルス感染症	1258	0.40
咽頭結膜熱	4539	1.45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5562	1.77
感染性胃腸炎	10035	3.20
水痘	267	0.09
手足口病	4688	1.49
伝染性紅斑	51	0.02
突発性発しん	853	0.27
ヘルパンギーナ	2442	0.78
流行性耳下腺炎	147	0.05
急性出血性結膜炎	10	0.01
流行性角結膜炎	544	0.79
細菌性髄膜炎 ⁷⁾	5	0.01
無菌性髄膜炎	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	16	0.03
感染性胃腸炎 (ロタウイルス) ⁸⁾	2	0.00
インフルエンザ (入院患者)	167	—

6) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。7) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。8) 病原体がロタウイルスであるものに限る。

●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	▲	沖縄、千葉、愛媛
新型コロナウイルス感染症	▼	埼玉、千葉、宮城
RSウイルス感染症	▼	山形、福島、高知
咽頭結膜熱	▲	福岡、大阪、京都
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▲	鳥取、奈良、福岡
感染性胃腸炎	▼	大分、香川、熊本
手足口病	▲	佐賀、福島、鳥根
伝染性紅斑	▼	高知、岐阜、沖縄、東京
ヘルパンギーナ	▼	山形、佐賀、福岡
流行性耳下腺炎	▲	新潟、岡山、兵庫、和歌山
マイコプラズマ肺炎	▲	青森、石川、福島、京都

◆インフルエンザA(H1N1) 変異型ウイルス：オランダ

9月2日、オランダ保健福祉スポーツ省は、オランダのノールト・ブラーバント州で豚由来のインフルエンザA(H1N1)変異型ウイルスに感染したヒトの検査確定例をWHOに通知した。これは2023年にオランダで報告されたインフルエンザA(H1N1)変異型ウイルスによる最初のヒト感染例。